

コロンビア経済情勢（11月分）

1 概要

【ポイント】

- 国家統計庁が第三四半期の経済成長率が前年同期比 2.7%となった旨発表。
- 国家統計庁長官が国勢調査の暫定結果を発表。

2 本文

主な出来事

<国内情勢>

（1） 経済見通し（15日，当地紙報道）

国家統計庁は、第三四半期の経済成長率が前年同期比 2.7%となった旨発表した。各部門の成長率はそれぞれ、教育・保健 4.5%、情報通信 3.7%、科学技術+3.6%、電力 3%、製造 2.9%、貿易 2.6%、建設 1.8%、金融 1.7%、鉱業 1%、農業 0.1%であった。一方、OECD は本年のコロンビアの経済成長率を 2.7%から 2.8%に上方修正した。

（2） 資金調達法（税制改革）（1日，当地紙報道）

カラスキージャ財務・公債大臣は下院において資金調達法を承認した。同法は、現行の税制制度を改革し、2019年に 19.4兆ペソ、2020年に 13.2兆ペソの税収増を目指している。同法が可決された場合、付加価値税（IVA）率は現行の 19%から 17%に引き下げられるが、課税対象範囲は拡大される。

（3） ボゴタメトロ整備計画（1日，当地紙報道）

エスコバル・ボゴタメトロ公社総裁は、ボゴタメトロ整備計画第一次路線の建設工事に関心を抱く企業に対し、入札資格事前審査に関する説明会を行った。同総裁によると、同説明会には約 20か国から 102の企業が参加した。

（4） ベネズエラ避難民による経済的影響（3日，当地紙報道）

世界銀行の報告によると、ベネズエラ避難民問題による 2018年のコロンビアの経済的影響は GDP 比 0.26%~0.41%に上ると見積もられている。同影響の主な要因には、ベネズエラに在住していた 30万人超のコロンビア人を含む、120万人以上の避難民に対する社会保障費の充当が挙げられている。一方、同報告はベネズエラ避難民の内、50万人は労働年齢にあたること、0.3%の消費増及び 0.2%の投資増によって、（中長期的には）避難民がコロンビアの 0.2%増の経済成長に寄与しうること示している。

(5) 既存 FTA の活用方針 (18 日, 当地紙報道)

商工観光省は, 輸出増及び輸出製品の多角化に向け, 既存 FTA 活用に関する戦略プランを発表した。同プランに着手するにあたり, 同省はコロンビアの主要貿易パートナーである米国, 多大な需要が見込まれる EU への輸出政策の改善を挙げている。韓国及びコスタリカに関しては, 衣服, 花卉, チョコレート及び革製品などに輸出増の潜在性があるとしている。

(6) 国勢調査暫定結果 (7 日, 当地紙報道)

オビエド国家統計庁長官は, 国勢調査の暫定結果を発表し, コロンビアの人口が 4,550 万人であった旨述べた。同調査によると, 若年層の割合は低下傾向がみられ, 高齢者の割合が増加傾向にあることが判明した。また, 人口の 78%は主要都市に集中している。

<対外経済関係>

(1) 対中国関連 (6 日, 当地紙報道)

PROCOLOMBIA (コロンビア貿易投資観光促進機構) は, 中国で開催された第 12 回中国・ラテンアメリカ企業家サミットに関して, コロンビアは, 同国には多大な投資機会の可能性が存在している事を中国に示した旨発表した。農業部門については, 約一千万ヘクタールの耕作可能な土地があり, フルーツ, カカオ, ハーブ及びスペシャリティコーヒーなどの作物を栽培する用意がある旨述べた。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

9月の実質工業生産指数(加工コーヒー豆を除く)は前年同月比2.9%であった。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

9月の実質小売売上高指数は前年同月比5.9%であった。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

9月の消費者信頼感指数 (ICC) は、▲0.7%と前月 (4.7%) を5.4ポイント下回り、前年同月▲10.3%を9.6ポイント上回った。

(2) 産業動向

(ア) 石油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

10月の石油生産量は日量88万バレルであり、前年同月比1.7%となった。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連盟 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による10月のコーヒー生産量は109万袋(1袋=60kg)となり、前年同月比1.2%となった。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

10月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=1.39ドル(前月は同1.27ドル、前年同月は1.45ドル)であった。

(ウ) エネルギー需要

10月のコロンビアのエネルギー需要は5,929GWh、前年同月比2.8%であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

10月の消費者物価上昇率は0.12%、生産者物価上昇率は1.33%であった。

(イ) 雇用

10月の全国平均失業率は9.1%と、前年8.6%より0.5ポイント悪化した。また、主要13都市の平均失業率は10.2%と、前年同月の9.5%と0.7ポイント悪化した。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

9月の貿易収支 (FOB) は、3.69億ドルの赤字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比6.6%の34.99億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比8.4%の40.48億ドルとなった。

3 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：％，出所：DANE)	2017/9	2018/7	2018/8	2018/9
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	-1.9	3.5	3.9	2.9
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	-1.8	2.8	4.6	2.9
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	1.4	3.2	5.5	5.9
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	213.5	195.8	183.6	213.9
(2) 失業率 (単位：％，出所：DANE)	17/10	18/8	18/9	18/10
(ア) 全国平均	8.6	9.2	9.5	9.1
(イ) 主要13都市平均	9.5	10.1	10.5	10.2
(3) 消費者物価上昇率 (単位：％，出所：DANE)	17/10	18/8	18/9	18/10
(ア) 前月比	0.02	0.12	0.16	0.12
(イ) 前年同月比	4.1	3.1	3.2	3.3
(4) 政策金利 (単位：％，出所：中央銀行)	17/10	18/8	18/9	18/10
	5.00	4.25	4.25	4.25
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	17/10	18/8	18/9	18/10
(ア) 月初	2,936.67	2,886.80	3,053.14	2,972.18
(イ) 月末	2,921.92	3,027.39	2,972.18	3,202.44
(ウ) 最高値	3,011.44	3,046.76	3,100.37	3,202.44
(エ) 最安値	3,011.44	2,886.80	2,972.18	2,972.18
(6) 株式指数COLCAP (単位：ポイント，出所：COLCAP)	17/10	18/8	18/9	18/10
(ア) 月初	1,487.54	1,540.41	1,536.16	1,512.97
(イ) 月末	1,424.58	1,542.77	1,506.07	1,392.18
(ウ) 最高値	1,491.47	1,548.27	1,536.16	1,524.86
(エ) 最安値	1,424.58	1,520.03	1,471.81	1,392.18
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	17/9	18/7	18/8	18/9
(ア) 輸出額 (FOB)	3,282.9	3,604.2	3,611.2	3,499.4
(イ) 同 年内累計	6,158.0	24,097.2	27,708.4	31,207.8
(ウ) 輸入額 (CIF)	3,732.6	4,347.4	4,580.7	4,047.8
(エ) 同 年内累計	34,513.7	28,780.1	33,360.8	37,408.6
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	17/10	18/7	18/8	18/9
	521.7	527.3	574.8	527.4
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	17/10	18/8	18/9	18/10
注：ポゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,750	9,303	9,339	9,462
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	17/10	18/8	18/9	18/10
(ア) 単月	19,709	21,444	21,430	21,537
(イ) 年内累計	65,704	154,293	175,723	197,260